

J A秋田おばこ消毒薬剤流出事故に伴う 地下水使用制限の解除について

J A秋田おばこ千畑支所種子センターから10月10日、種子消毒用の薬剤が流出した事故を受け、町では小荒川地区と土崎南部地区の全世帯に対して地下水の使用を禁止し、その間給水車を配備しました。

J Aによる地下水等の検査を数回にわたり実施した結果、いずれの調査地点からも薬剤が検出されなかったことから、同月18日午後、地下水使用禁止の措置を解除しました。

使用禁止地区の住民の皆さんには、たいへんご不便をおかけしました。また、給水体制にご理解とご協力をいただきありがとうございました。

なお、今後農家で薬剤の使用および処理については、説明書を熟読され適正に対応するようお願いいたします。また、使用等で不明な点がありましたら、必ず購入先にご確認ください。



【流出事故および水質検査の結果について】

J A秋田おばこ本所(大仙)対策本部 ☎0187-86-0883

【事故に伴う町の対応について】

役場(千畑庁舎)住民生活課 環境班 ☎84-4903(内線2143)

コミュニティ助成事業で、芝刈り機と遊具を整備しました

平成17年度のコミュニティ助成事業により、芝刈り機(3台)と遊具を整備しました。芝刈り機は千畑、六郷、仙南の各除雪センターに備え付けし、遊具は本館児童館(六郷地区)前の農村公園に設置しました。遊具は自由にご利用いただけますし、芝刈り機は自治会や町内会、集落などに貸出しします。詳しくは建設課管理班までお問い合わせください。



▲芝刈り機



▲遊具(丸太砦と鉄棒)



コミュニティ助成事業は、財団法人自治総合センターがコミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報を目的として行っています。



役場(仙南庁舎)建設課 管理班 ☎84-4910(内線3222)

郷土資料館や学友館特別展などを見学しました 美郷めぐり「秋」



▲一丈木遺跡・竪穴式住居復元跡を見学する参加者

美郷めぐり「秋」が10月16日に行われ、町民など22人が参加しました。

「春」「夏」に続いて3回目の実施となったこの日は、千畑地区にある郷土資料館や松杉並木、一丈木遺跡竪穴式住居復元跡のほか、学友館で開かれている特別展「菅江真澄展」などを見学しました。

なお、美郷めぐりの4回目となる「冬」バージョンは、2月15日(水)に予定しており、六郷のカマクラや酒蔵開きなどを見学する予定となっています。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

あなたの「声、
を町長に直接
伝えませんか

11月のふれあい談話室

期 日	時 間	場 所
11月9日(火)	午後5時～ 午後6時30分	役場六郷庁舎2階 町長室
11月11日(金)		役場千畑庁舎1階 応接室(元町長室)
11月15日(火)		役場仙南庁舎2階 応接室(元村長室)

町長が各庁舎に出向き、来庁された町民の皆さんから町政へのご意見やご要望を直接お伺いします。

個人でも団体でも、どんなささいなことでも構いませんので、お気軽にお立ち寄りいただき、町長へ直接お話しください。

問
い
合
わせ

役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班 ☎84-4900(内線1226)

町長が週1日
役場千畑庁舎
と仙南庁舎で
執務

移動町長室

曜 日	時 間	場 所
毎週火曜日	午前9時～ 午後3時	役場仙南庁舎
毎週木曜日		役場千畑庁舎

町長が毎週1日、役場千畑庁舎と仙南庁舎で執務していますので、ご用のある方はお立ち寄りください。

なお、会議への出席などにより、不在の場合や実施できない場合があります。

風

美郷町長 松田 知己



「誕生日を迎えて」

「這えば立て 立てば歩めの親心」。先日、友人の幼子を見て、この言葉を思い起こしました。情景とともに親の心情がほのぼのと伝わってきますが、ほんとうに琴線に触れる言葉です。

さて、私たちの美郷も満一歳になりました。動物は自分のために生まれて間もなく歩き出しますが、美郷町も住民のために誕生と同時に動いてきました。皆さんが見た美郷のこの一年、いかがだったでしょうか。

ところで、材木には枝の付け根に節目ができます。根・幹から枝・葉に水分を届け、葉・枝から幹・根に養分を届ける中継点です。節目は樹木には大切な所です。製材すると邪魔者扱いですが、この節目があつて樹木はしっかりと生かすことができます。軽んずることはできません。

同じように人生にもそうした節目があります。そして樹木と同様、重要な役割を有します。その節目に何を考え、何に満足し、何に反省するのかが、次の成長に影響を与える機会になるからです。そこで最も身近な節目を考えます。まず浮かんでくるのが誕生日です。何と言つても生命を授かった日です。このことは美郷町も同様だろうと思います。

ということ、美郷の満一歳の節目に一年を振り返ってみました。行政運営を何とか軌道に乗せたくて随分と考え、動いた一年でした。職員もがんばりました。全員で「動いた」という自負があります。一方、まだまだ思慮が浅かった、目配せが不足だったという反省もあります。もう少し気が回っていたら……という思いがあるのも事実です。この反省、二年目の行政運営には必ず繋げていきたいと思つているところです。

美郷の成長は今じまつたばかりです。旧町村とは違う、美郷らしい成長をしたい。だからこそ皆さんからも建設的な意見をいただきたい。そのためには、まずは町の考え方や状況を知ってもらいたい……とくると最後はやはり……だから本欄「風」をどうか読んでもらいたいというPRになつてしまいます。悪しからずよろしくお願いたします。

写
真

町議会議員改選後の議会で行政報告を行う松田町長